

皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

我が国の経済は新型コロナウイルス感染症の法的位置付けが変更され、インバウンドの需要の増加、原材料価格の高騰による物価上昇・円安の影響などで、先行きが不透明な状況が続いております。

このような中、当社グループでは2024年3月期に認可保育園3園、学童クラブ1カ所、ホスピス対応型ホーム1事業所、医療モール型調剤薬局1店舗を開業し、売上高は前期比+2.1%、営業利益は+106.8%の増収・増益となりました。これもひとえに皆様のご支援のおかげと感謝申し上げます。

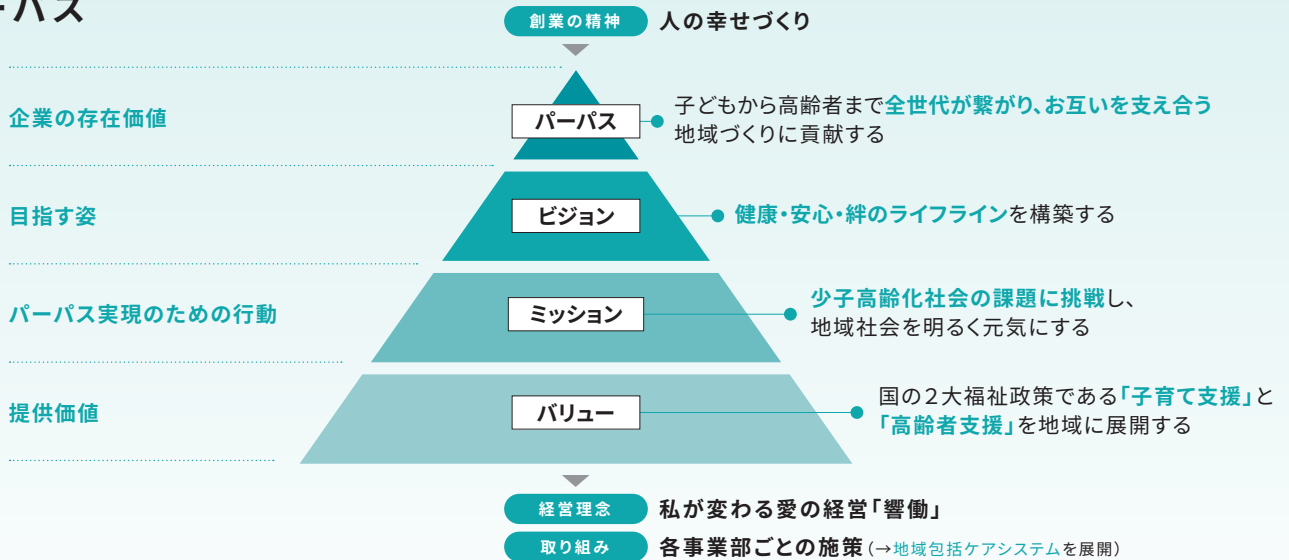
今期は、4月1日に子会社であるライフサポート株式会社の吸収合併を行い、さらなる経営の効率化と強化を図ってまいります。また、新たにパーパス経営を打ち出し、今まで以上に共通の価値観を共有して、さらなる進化を遂げたいと考えております。

今後とも変わらぬご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

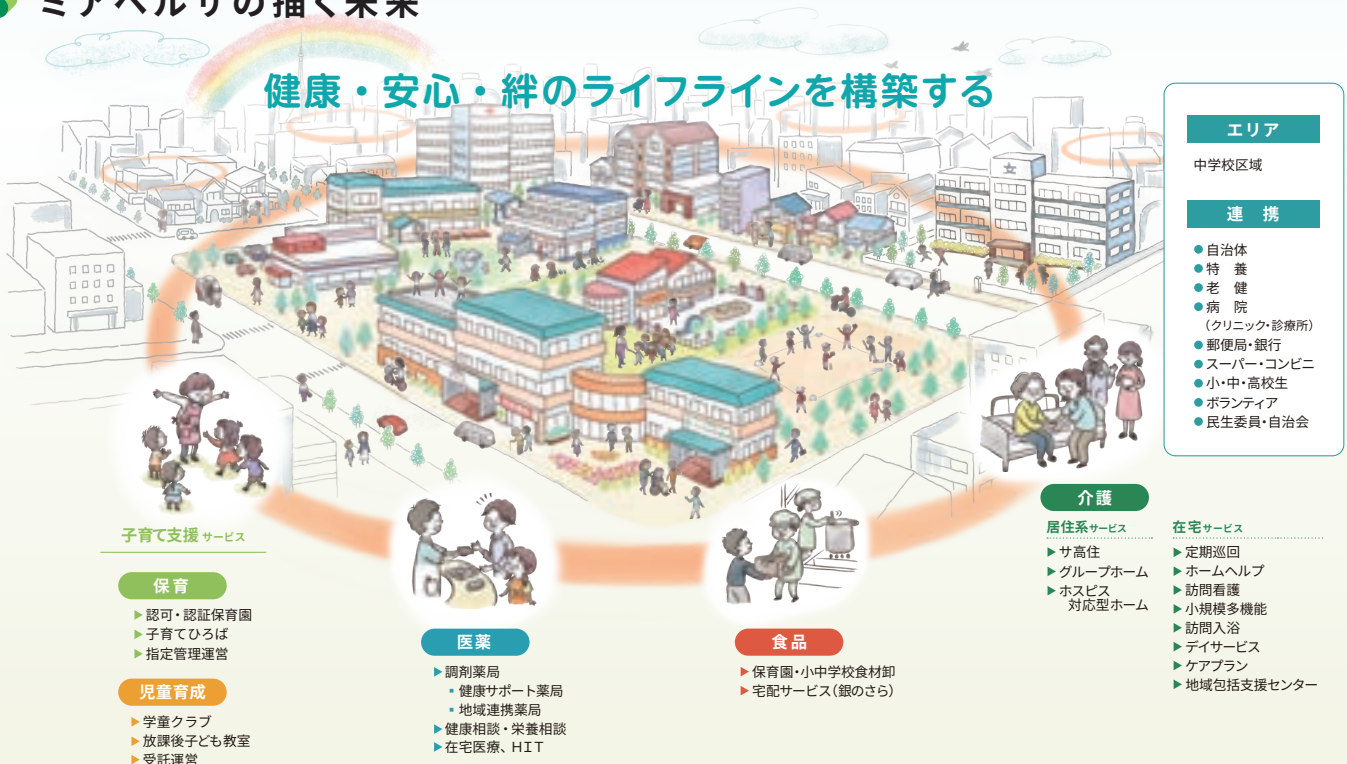


代表取締役社長 青木 文恵

パーパス



ミアヘルサの描く未来



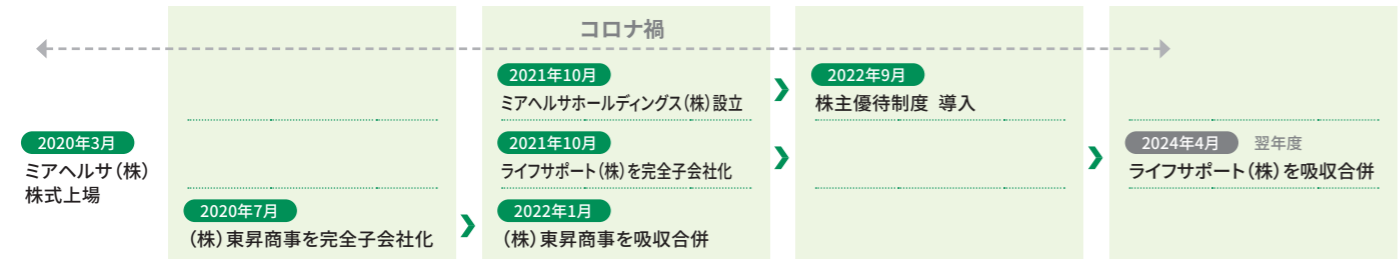
● 中期経営計画

株式上場後の経営成績の推移について

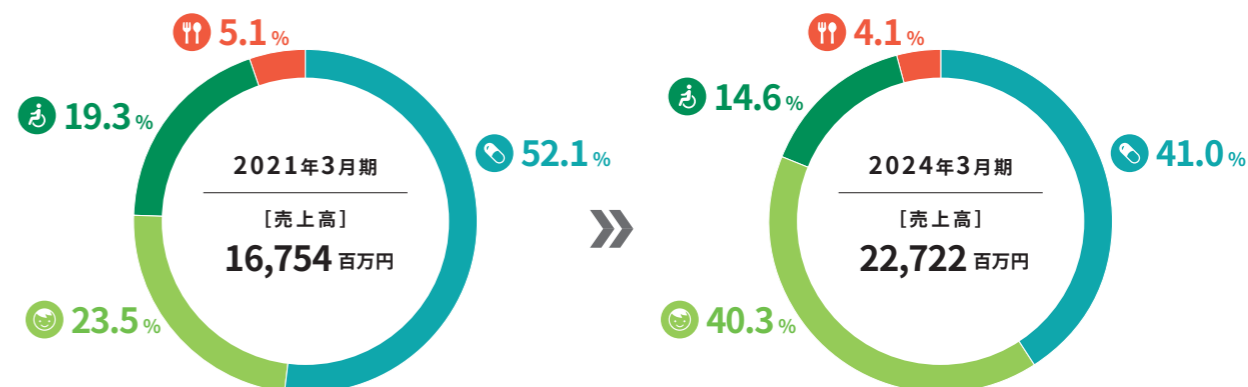
● 主な経営指標の推移

	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期
売上高	16,754 百万円	19,510 百万円	22,249 百万円	22,722 百万円
経常利益	340 百万円	189 百万円	169 百万円	374 百万円
純資産額	2,975 百万円	3,202 百万円	3,337 百万円	3,306 百万円
株主配当	25 円/株	30 円/株	30 円/株	30 円/株
			+株主優待制度	+株主優待制度

● 経営環境の変化



● 収益構造の変化



2021年3月期(株式上場の実質1年目)に23%だった子育て支援事業(保育+児童育成)の売上割合は、東昇商事およびライフサポートのM&Aの成功により、2024年3月期には40%へと大幅に上昇しました。これにより、医薬事業と並ぶ収益の二本柱へと成長し、『国の2大福祉政策である「子育て支援」と「高齢者支援」を地域に展開する』という当社グループのバリュー実現に向けて大きく前進しました。今後も、各事業部が「中期経営計画2025」に掲げた施策を推進することで、さらなるグループの成長を目指してまいります。

「中期経営計画2025」について (2025年3月期～2027年3月期)

● 当社の事業を取り巻く環境

- 2025年には65歳以上の高齢者は3,658万人と全人口の3人に1人の割合となり、高齢者の5人に1人、約700万人が認知症になるといわれている。介護事業・調剤薬局事業の需要は今後も拡大。
- 女性の就業者数の増加に伴い、首都圏では依然として保育園・学童クラブのニーズが高い。保育園の「待機児童」問題は「待機学童」の問題に変わり、なお解消に至っていない。
- 3事業の関連する社会保障給付費は、2018年の121兆円から2040年には188兆円と1.5倍に拡大することが予想されている。

当社3事業の成長の機会

● 基本方針

基本方針:1	基本方針:2
<h4>成長戦略の加速</h4> <p>ドミナント展開・事業部間連携によるシナジー効果を発揮し、企業価値向上に取り組む</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 同一区域への集中展開(市区町村ドミナント)と近隣市区への横展開(沿線ドミナント)の実施 ● 「薬局×介護施設」・「薬局×保育園」・「保育園×介護施設」など事業部間連携の推進 	<h4>経営基盤の強化</h4> <p>営業利益率の向上により、持続的な成長と安定的な経営基盤を構築する</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 不採算事業所の整理・統合 ⇒ 認証保育所の認可化など ● ICT、DXの活用による業務の効率化 ⇒ 間接部門の適切な人員配置(省人化)など

● 数値計画

2024年3月期 実績	2025年3月期	2026年3月期	2027年3月期
売上高 22,722 百万円	売上高 22,900 百万円	売上高 23,400 百万円	売上高 23,800 百万円
営業利益 395 百万円	営業利益 490 百万円	営業利益 690 百万円	営業利益 830 百万円
営業利益率 1.7%	営業利益率 2.1%	営業利益率 3.0%	営業利益率 3.5%

● 事業別重点施策

<h4>医薬事業</h4> <ul style="list-style-type: none"> ● 医療機関や自社グループ運営施設との連携を強化し、競合他社との差別化を図る ● 加算の取得強化や業務効率化により利益率の向上を図る
<h4>子育て支援事業</h4> <ul style="list-style-type: none"> ● 東京都内を中心に集中展開、既存施設との連携を強化することでシナジー効果を発揮 ● 子育て支援の質の向上を図り、自治体・保護者から選ばれる保育園・学童クラブを目指す ● (子会社の吸収合併を活かし)本社部門のスリム化や業務効率化により収益率の改善を図る
<h4>介護事業</h4> <ul style="list-style-type: none"> ● 当社グループの長年の強みである「自律支援」、および「看取り対応、末期がん・難病患者への対応」をより強化 ● 当社の強みを活かして他社との差別化を図り、加算算定への対応を強化していく ● 介護士の業務負担の軽減と、研修や教育の充実により介護の価値を高める

2024年 新規開設事業所紹介

日生薬局 新御徒町店 2024年1月開設

駅近くのクリニックモール1Fに開局(2F:内科、3F:耳鼻咽喉科)

●最寄り駅 つくばエクスプレス「新御徒町駅」徒歩1分
JR「御徒町駅」徒歩10分

練馬区 光が丘四季の香小ねりっこクラブ 2024年4月開設

東京都練馬区光が丘四季の香小学校内の学童クラブを受託運営

●最寄り駅 都営大江戸線「光が丘駅」徒歩8分

日生薬局 立川店 2024年7月開設

大型ショッピングセンターのクリニックモール内に開局

●最寄り駅 JR「立川駅」徒歩5分
立川高島屋S.C. 10F

ミアヘルサ保育園ひびき 羽沢横浜国大 2024年9月開設(予定)

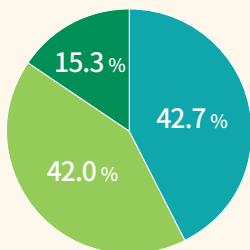
駅前立地の大型複合施設(商業施設・マンション)の2Fに入る認可保育園

●最寄り駅 相鉄新横浜線「羽沢横浜国大」徒歩1分



売上高 22,722 百万円	営業利益 395 百万円	経常利益 374 百万円	親会社株主に帰属する当期純利益 5 百万円
--------------------------	------------------------	------------------------	---------------------------------

セグメント別売上高構成比



※報告セグメント3事業のみ。
 その他、調整額を除く。

医薬事業については、既存店舗の処方箋枚数が回復したことに加え、前連結会計年度/当連結会計年度に出店した新規出店効果もあり、売上高は前年同期比3.6%増となりました。

保育事業については、2023年3月末に不採算であった東京都認証保育園等を閉園した結果、間接コストの削減と利益率の改善が図られ、また、2022年4月/2023年4月に開設した認可保育園の園児数が増加したことにより、売上高は前年同期比3.2%増となりました。

介護事業については、入居者・利用者の獲得に向けた営業活動の強化によりサービス付き高齢者向け住宅の入居者、および併設事業所の利用者数も回復しましたが、不採算事業所の閉鎖を実施したことで、通所介護事業所等の利用者が減少し、減収となりました。

医薬事業

2023年4月に実施された薬価改定(△5.0%程度)の影響や新型コロナウイルスの影響が継続しているものの、医療機関による外来受診抑制の緩和、およびインフルエンザ等の感染症患者の増加により処方箋枚数が増加しました。また、調剤技術料の加算獲得等に努めたことで技術料単価も上昇しました。

保育事業

認可保育園3園、および学童クラブ1カ所を開設する一方、グループ会社のライフサポート株式会社において、認証保育園1園を閉鎖したほか、学童クラブ等2カ所の業務受託が終了しました。一方、保育士等の採用活動を強化し、人員体制の見直しを図ることで加算獲得に努めたことにより効率化が図られ、採算性が向上しました。

介護事業

不採算事業所5事業所の閉鎖による効率化を図ったことで、採算性は向上しましたが、2023年8月に開設したサービス付き高齢者向け住宅(ホスピス対応型ホーム)、および併設事業所3事業所の開設コストが生じたことで、利益面では低調に推移しました。

(単位:百万円)	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期
	通期	通期	通期(予想)
売上高	22,249	22,722	22,900
営業利益	191	395	490
経常利益	169	374	480
親会社株主に帰属する当期純利益	209	5	290
総資産	14,135	13,809	—
純資産	3,337	3,306	—
1株当たり当期純利益	84.22円	2.21円	114.75円
自己資本比率	23.6%	23.9%	—

配当について

2024年3月期の期末配当につきましては、1株当たり17円を実施させていただきます。これにより中間配当の13円と合わせて年間配当金は、1株当たり30円となりました。次期も同様に30円となる予想です。また、毎年9月30日現在の当社株主名簿に記載または記録された1単元(100株)以上保有された株主様に対して、当社オリジナルQuoカードを贈呈しています。

- 100株以上 …… 1,000円分
- 200株以上 …… 2,000円分
- 300株以上 …… 3,500円分

2024年3月期	2025年3月期(予想)
1株当たり配当金 30円 (中間:13円、期末:17円)	1株当たり配当金 30円 (中間:13円、期末:17円)

株主メモ

証券コード	7129	株主名簿管理人	みずほ信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目3番3号
上場証券取引所	東京証券取引所 スタンダード市場	郵便物送付先 および電話照会先	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 電話:0120-288-324(フリーダイヤル)
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	公告掲載方法	電子公告により行います。やむを得ない事由により電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
定時株主総会	毎年6月	公告掲載URL	https://www.merhalsa-hd.jp/
基準日	毎年3月31日		
剰余金の配当の基準日	毎年9月30日、3月31日		
1単元の株式数	100株		



会社名 ミアヘルサホールディングス株式会社
 本店所在地 〒162-0064 東京都新宿区市谷仲之町3番19号
 電話番号 03-3341-7205(代表)
 お問い合わせ contact-ir@merhalsa.jp

